

単元名 5 論理を捉えて ―モアイは語る―地球の未来

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味することができる。
 (2) 文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味することができる。
 (3) 粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとする。

標準的な展開例

11210208_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 全文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「モアイは語る」というタイトルから内容を予想する。 本時の学習課題をつかむ。 ★文章を通読し、内容を捉えよう。 本文を通読する。 注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>2 文章の構成に着目し、内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 序論の問題提起を再確認する。 本時の学習課題をつかむ。 ★文章の構成に着目して、内容を捉えよう。 文章全体を序論・本論・結論に分ける。 筆者が序論で示している問いと、それに対する答え、また、答えの根拠として挙げられている事実を要約し、表にまとめる。 本論の四つの各部分について、それぞれに小見出しを付ける。 小見出しを確認し、本時の学習内容をまとめる。 <p>3 論理の展開を吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題をつかむ。 ★論理の展開を吟味しよう。 「イースター島の運命」と「地球の未来」の比較について読み取る。 筆者の主張を捉え、簡単な文章にまとめる。 「モアイの秘密」を解き、それを基に地球の未来を語る筆者の論理の展開について、「効果」や「説得力」という観点から話し合う。 <p>4 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 ★筆者の主張に対する考えを文章にまとめよう。 筆者の主張に対する自分の考えを、自分の知識や体験と重ねて200字程度でまとめる。 学習を振り返る。 「モアイ」は何を語っているのか、「モアイ」「歴史」「未来」の三つの言葉を使って、端的に説明する。 論理の展開を捉えるとき、どのような点に着目すると効 	<ul style="list-style-type: none"> この題は、比喻表現であることを押さえてモアイがわたしたちに何を「語る」のかを予想させる。サブタイトル「地球の未来」と関連付けて、「モアイ」―「地球の未来」というつながりから想像させたい。 範読するか、国語指導CDを聞かせ、おおまかに内容を捉えさせる。 【評】注意する語句・新出漢字を調べる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 前時にまとめた四つの問題提起を確認し、本論がそれらに順に答えていく形で展開していることを確認する。 筆者の主張が書かれている段落(結論)を見つけ、その主張を支えるために序論と本論があることを押さえるとよい。 【評】文章を序論・本論・結論に分ける活動を通して、「知識・技能」を評価する。 小見出しは、本文中の言葉を効果的に使って短くまとめるように伝える。 【評】各部分に小見出しを付ける活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 小見出しと各部分の内容の対応を確認する。 適切な小見出しを付けることで、内容が把握しやすくなることを示す。 本論で述べられていた「イースター島の運命」について簡単に振り返る。 観点(森林、人口爆発、食料や資源の不足、地理的条件など)を立てて比較し、筆者が類似点を見い出していることを確認する。 【評】比較をして読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。 イースター島と地球との比較を踏まえながら最後の「私たちは、今あるこの有限の資源を……人類の生き延びる道なのである。」に表れている筆者の主張を捉える。 【評】論理の展開について話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 結論で述べられた、筆者の主張とその根拠を振り返る。 原稿用紙を用意しておく。 【評】自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】「モアイ」が何を語ったのかを説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】論理の展開について説明する活動を通し

果的か、自分の言葉で説明する。

て、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

文学的な文章では、言動や心理の描写、情景の描写などに、作者のものの見方や感じ方などが表れている。また、説明的な文章では、論の中心的部分だけでなく、例示などがもつ効果が読み手を強く引きつける場合も少なくない。この単元では、こうした多様な描写や例示のあり方に注目しながら、文章を読み深めることが目的となっている。また、描写や例示などは、書き手のものの見方や感じ方を具体的に伝え、読み手を楽しませる働きがある。